

### 第3回講演会「時代に翻弄された千葉氏」講演報告（幹事会・歴史G共同開催）

実施日 2018・12・6（木）1：30pm～4：00pm

参加者 62名（内・当日参加者7名）

欠席者 10名（事前連絡欠席者5

名）

◎講師・「千葉氏を語る会」理事・山内 博様、事務局長・日向 安昭様＝2名

「千葉氏を語る会」は千葉氏を研究し、その業績を通じて郷土の地域振興や郷土愛の構築を目的として、講演会や勉強会、現地見学会などの活動をされている。会員は約70名。

2018年は千葉のまちの礎を築いた千葉一族の中興の祖・千葉常胤（つねたね 1118－1201）生誕900年です。源頼朝を支え鎌倉幕府成立に大きく貢献。鎌倉幕府屈指の御家人となった千葉氏は、北は奥州、南は九州に至る全国各地に所領を得ていきます。千葉氏400年の推移をこの機会に 山内様 日向様 両名に講演していただいた。（案内ポスターより）

（幹事会担当－青木会長・森本副会長・日東寺。歴史G担当－竹田・若葉・平山）

小雨の中 62名の会員を迎え 予定より5分遅れて開始された。

まず日向氏の日本・通史の中における千葉氏の成り立ち・各年代に絡む千葉氏の動向が説明された。

鎌倉幕府創立に強く関わり 鎌倉幕府NO2と言われた千葉氏が源頼朝没後2年・1201年 常胤没後、家督内騒乱を経て分裂、480年続いた千葉氏は1590年滅亡。歴史上から消えていった。

2時30分休憩に入り 45分、後半・山内氏の講演に入る。

天武天皇の時代から桓武天皇成立事情、桓武紀・平家の成り立ち（それ以前に清和源氏が立つ）。桓武天皇曾孫・高望王が関東に下り将門の乱を経て、高望王の四男・良文子孫らが房総半島を広く支配するようになった経過が話された。常胤の時代、父・常重より伝領した相馬御厨を巡り京都中央政府と長年にわたった確執があり 結果これを手放すという苦境に至る。このことが後に源氏・源頼朝を擁して1180年旗揚げをすることにつながった。

間に『妙見実録千集記』より 常重誕生にまつわる羽衣伝説の話など伺い、3時30分に終了。その後、4名ほどと質疑応答があり 4時に講演終了となった。

講演後、室内を学習時状態に戻すため 参加者有志で机並べなどの作業に入る。率先して、作業に入る女性会員の姿に男性会員も多数の応援～早々と作業終了となり帰宅時には 雨も上がっていました。

11月歴史G「秋の散策」11月20日 実施。平将門ゆかりの現地見学会で実際に相馬御厨の地に立った歴史G会員や散策参加者には 心に響くものがあつたと思う。

早い時間から準備に入っていたいただいた幹事役員様に お礼申し上げます。

文責・438 - 平山 まゆみ（歴史G）